

## 活動報告

### 長期休職からの復職

会員ライフサポート部 竹久保 真紀(済生会平塚病院リハビリテーション科 理学療法士)

会員ライフサポート部 活動報告 第30報

私は理学療法士として6年間勤め、平成12年に結婚を機に退職しました。それからは専業主婦として3人の子育てに専念していました。

平成23年2月、以前勤務していた病院のリハビリテーション科係長から「訪問リハビリのパートスタッフを募集予定なので、やってみないか。」という声をかけていただきました。当初は、子育て中の11年間、PTの学会や講習会に参加することなく、学会誌やPT関係の本を開くこともない、理学療法とは全くかけ離れた生活を送ってきた人間に現場復帰は無理だと思い、その旨を伝えました。が、リハ係長の返事は意外なもので、「現場感覚はすぐに戻ると思います。学術面や技術面等、不安な事はフォローしますから大丈夫です。」とのことでした。この言葉で復職に対する不安は多少和らぎましたが、今は3人の子の母親です。もし復職したとしても子供の体調不良時には欠勤せざるを得ません。私は実家が遠方の為、私の代わりに子の面倒をみてくれる人がいないので、その間患者様にご迷惑をかけることとなります。これも現場復帰に対する不安要因でした。しかし、これに対してもリハ係長が柔軟に対応してくださるとのことでしたから、復職を決意し4月から訪問リハビリを開始することが決定しました。

11年間患者様と接していない不安は多大でしたので、3月中の数日間リハ係長の下、リハビリ室で見学や評価実習

のような研修をさせていただき、4月の訪問開始に備えました。

現在は、子供の保育園の迎えや習い事の送迎が出来るよう病院側に時間的配慮をいただきながら、1日平均4件の訪問を行っています。技術面はリハ係長のアドバイスをいただきながら、患者様の変化を出せる訓練が行えており嬉しく思います。復職前に考えていた11年間の長過ぎるブランクを不安視する程、今現場で評価や訓練内容に困惑することはありませんので、とても楽しく仕事をさせていただいております。ですが訪問リハビリといっても仕事は訪問での訓練だけではなく、様々な書類作成や各事業所のケアマネージャーとの連絡等があり、子供の迎えを考えると時間的余裕がない状況です。今のところ大きなミスはありませんが、とても注意を払いながら仕事をしています。

私の復職は以前勤務していた職場でしたし、付き合いのあるリハ係長の下でしたので、復帰前の研修の願いを聞き入れていただき、最小限の不安で復職できました。これは幸いだったと思います。

今後は、長期休職から復職する人の為の講習会や臨床研修のような制度があると、私のように現場復帰を志しているが不安を抱えている休職者が、再就職しやすくなるのではないかと考えます。

## 復職支援実務研修（リカレント研修）

【研修施設】	Aコース	急性期病院	聖マリアンナ医科大学病院
	Bコース	回復期病院	南大和病院
	Cコース	訪問リハビリ	足柄リハビリテーションサービス

※研修施設は追加される可能性がありますので、県士会ホームページでご確認ください。

【期 日】 平成23年7月～平成24年2月の5単位（時間）×5日間

【受講料】 5000円 【募集定員】 各施設2名

【応募方法】 ①氏名 ②年齢 ③性別 を記入の上、下記の応募先へメールでお申し込みください。  
こちらから応募内容を再度ご連絡申し上げます。

【応募・問い合わせ】 神奈川県理学療法士会会員ライフサポート部 萩原 文子  
(lifesupport@pt-kanagawa.or.jp) (社) 神奈川県理学療法士会事務局 FAX 045-326-3226

【応募締め切り】 平成23年12月25日